

# 「日本語の談話とプロフィシエンシー」

現実生活に根ざすプロフィシエンシー（日本語の運用能力）の向上をめざした特別シンポジウムを行います。

と き：2013年6月29日（土）10：00～17：00

ところ：キャンパスプラザ京都第2講義室（JR京都駅ビル駐車場西側）

参加費：会員：無料、非会員：2000円

（会員となり研究会ジャーナル提供、当日の資料費含む）

参加申込：本研究会 HP <http://proficiency.jp/> より

※会場、予稿集、懇親会の準備のため、事前申込をお願い致します。

13:45～14:45 ポスターセッション

場所 キャンパスプラザ京都第2講義室（パネルと同じ場所）

ポスター発表者	タイトル
立部文崇（南山大学大学院）	「そうですね」「そうですよ」の適切性に関する考察
三井 久美子（大阪大学大学院）	経験談における引用表現 一何を指導すべきかー
85Kyoto OPI メンバー7名	OPIに見られる日本語人生：エスノメソドロジーの手法を使って
山崎むつみ（武庫川女子大学）	異文化空間における揺らぐ心理とコミュニケーション：日本語教師の目を通して
辻田善弘（海外産業人材育成協会 非常勤講師） 阪上彩子（大阪大学日本語日本文 化教育センター非常勤講師）	中級日本語教科書における接続表現の扱いとインタビューにおける 使用実態 ー中級学習者対象の会話教材作成に向けてー
鈴木秀明（目白大学） 山口恵子（桜美林大学）	上級学習者を対象としたディクトグロスの実践報告
甲斐 朋子（大阪大学大学院）	電話における「依頼-断り」会話の談話展開と韻律的特徴について
岡田 達也（樟蔭東短期大学）	秘書検定3級の敬語使用場面設定
富岡史子（岡山大学社会文化学研究所）	第一言語におけるノダの習得

プログラム詳細は本研究会ホームページをご覧ください。